

# 小数のわり算 授業アイデア例（6時／13時）

## 〈本時の目標〉

- ・ 小数の除法での余りの意味を理解し、余りを求めることができる。

## 〈本時で期待する児童の姿〉

- ・ 小数のわり算で、余りのある場合の計算方法や余りの表し方について理解している。

## 〈アクティブ・ラーニングの視点に立った授業づくりの工夫〉

### 余りの小数点の打ち方を考える

- ・ 線分図と筆算を照らし合わせ、考えを説明させる。
- ・ 被除数と商と余りの関係などに着目して、グループで説明させる。
- ・ 検算をさせる。

グループで話し合いながら、余りの数の表し方に気付かせる工夫をしました！



段階	学習活動
学習課題の把握・見通す	<p>1. 問題を捉える。</p> <div data-bbox="263 945 884 1099" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>問題：2.6mの針金を、1人に0.7mずつ配ります。何人に配ることができますか。また、何m余りますか。</p> </div> <div data-bbox="884 954 1422 1099" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f8d7da;"> <p>図工等で「針金」を使用する場面を想起させ、何本に切ることができ、どのくらい余るかを求めさせる。</p> </div> <p>2. 前時の学習との違いを確認し、答えを予想する。</p> <div data-bbox="220 1173 319 1303" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <div data-bbox="319 1173 1315 1330" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>前回の学習との違いは何ですか。何人に配ることができそうですか。また、余りはどのくらいになりますか。計算の結果が出たら、正しいか確かめましょう。</p> </div> <div data-bbox="220 1370 319 1500" style="float: left; margin-right: 10px;"> </div> <div data-bbox="319 1352 785 1500" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>前の学習では、余りがありませんでした。線分図を使って考えてみます。</p> </div> <div data-bbox="804 1352 1326 1500" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>26÷7で考えると、3人に配ることができると思います。余りは5mだと思います。</p> </div> <div data-bbox="1326 1370 1425 1500" style="float: right; margin-left: 10px;"> </div>
	自力解決

4. 課題を把握する。



自分の考えと友達の考えを線分図や筆算と照らし合わせ、余りの数の表し方を探りましょう。

余りの大きさに注目させ、小数点の打ち方に気付かせる。

課題：小数のわり算で余りがある場合の表し方を考え、説明しよう。

5. 余りがある場合の表し方について、グループで話し合う。

集団解決

2.6mの針金を0.7mずつ配るから、3人に配ることができて5m余ります。



最初の針金の長さより、余りのほうが長いので、5m余るのはおかしいと思います。

6. 全体で話し合い、小数のわり算の余りの表し方を明確にする。



説明を聞いて、分かったことを発表しましょう。

筆算の余りと数直線を比べると余っている部分が2.5mの最後の部分に当たるので、0.5mになると思います。



余りは5mだと思っていたけれど、検算を試みたら最初の針金の長さよりも長くなっているため、0.5mになると思います。



7. 小数のわり算で余りがある場合の計算についてまとめる。



今日の学習について、「小数の割り算」「余り」「小数点」「割られる数」を使ってまとめましょう。

小数の割り算で余りがあるときは、余りの小数点は、割られる数の元の小数点に合わせて打ちます。



まとめ・振り返り

8. 適用問題に取り組む。(教科書P55  $\triangle 7$ )

9. 新しく分かったことについて振り返る。



今日の授業で、友達の考えなどから新しく分かったことを書き、隣の人に伝えましょう。

ノートに書き、何を学んだかを明らかにさせる。

計算しやすくするために10倍していた分を、元に戻して考えて、割られる数の最初の小数点と同じ場所に打てばいいので、余りは0.5mです。



余りの小数点は、割られる数の元の小数点にそろえて打つことが分かりました。気を付けて計算したいです。

